

熱感知器

台所に設置されている熱感知器が火災を検知した場合、インターホンが自動的に鳴動します。警報音とともに、

「火災が発生しました。安全を確認して避難してください。」と鳴ります。

- ・火災の場合は、すぐにインターホンの非常ボタンを押し、管理室に通報してください。
- ・誤感知やすぐ自分で鎮火できる場合はすぐ処置・鎮火します。
- ・警報音停止ボタンを押すと、警報音が止まります。警報音停止ボタンを押さなくても、感知器が復旧すれば停止します。2分以内であれば通報は解除できます。感知器が作動中は警報停止ボタンを押しても鳴りつづけます。

エレベータ

センサーが地震を感じると、最寄り階に停止します。

急に停電になった場合は、エレベーターは途中で停止します。10~15秒程度経過後、非常バッテリーが作動し、最寄階に停止します。

ただし、その前の停電から時間が経っていない場合など、バッテリーが十分充電されていない場合は作動できなくなります。揺れを感じたら全ての階のボタンを押し、止まった階で降りるように習慣づけておきましょう。

セキュリティインターホン

緊急時には 非常ボタンを押してください。

管理員室または24時間管理の「ログシステムセンター」に通報されます。管理員室が不在の場合も安心です。

受信した情報により、警備会社が急行し、状況に応じて消防署や警察に通報を行います。

お部屋へ管理室からインターホンで連絡がある場合もあります。



ログシステムセンター

0120-285-789

24時間、365日対応

各種の警報が発生した場合、事故や事件が発生した緊急時の連絡先です。

非常ベル

火災等の非常事態には、非常ベルのボタンを押してください。

非常ベルが鳴っているのを聞いたら、

- ・火災等が発生したのかどうか、周囲の確認をお願いします。
- ・火災が発生していた場合は、避難をお願いします。
- ・避難後に消防署への連絡もお願いします。

止める場合は、非常ベルのボタンを引き戻すことで、鳴動が止まります。



消火器

各階に設置されています。使用方法は

1. まず、黄色の安全栓を上方に完全に引き抜きます。
2. 次にホースをはずし、火元に向けます。
3. レバーを強く握って、できるだけ火元に近づき、手前からホウキで掃くように消火薬剤を放射してください。

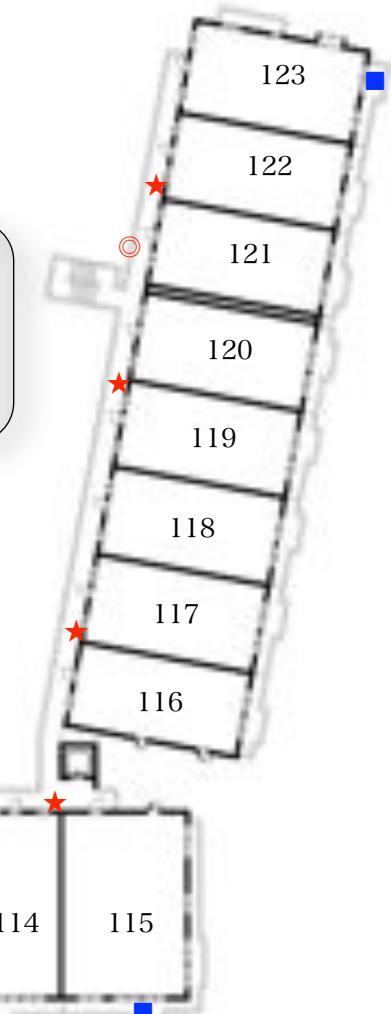
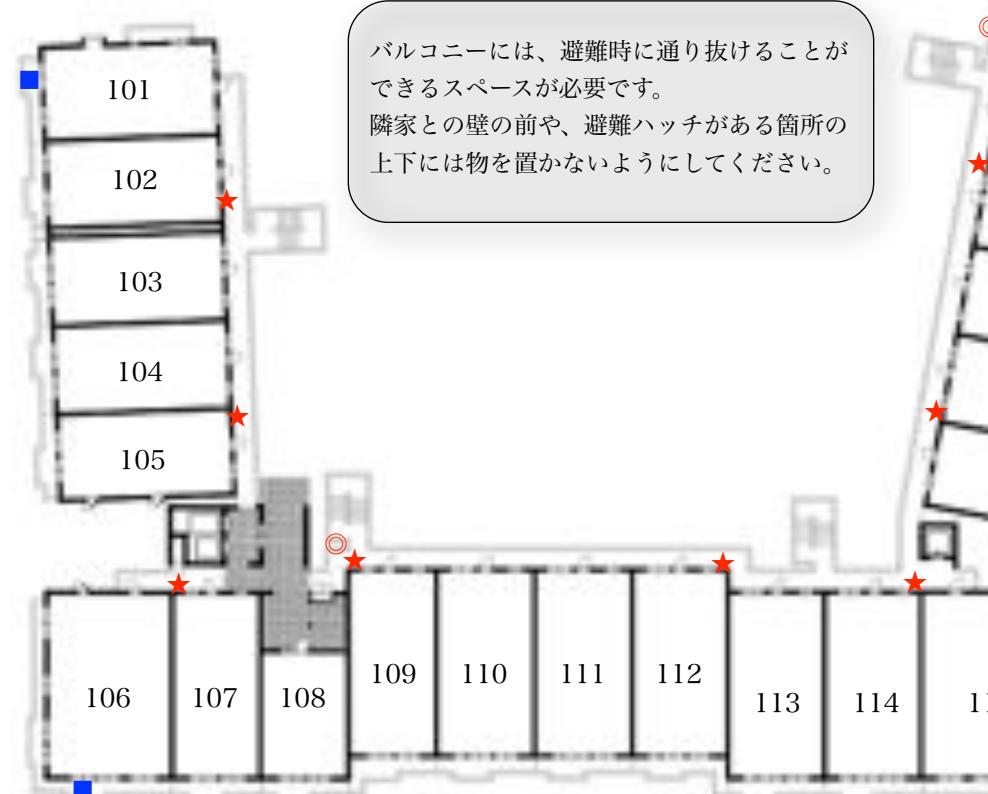
■室内で消火活動をする時は、逃げる方向を背にして放射して下さい。

1階

◎ 非常ベルが設置されています。

★ 消火器が設置されています。(廊下側)

■ 上階からの避難ハッチがバルコニーの天井にあります。



熱感知器

台所に設置されている熱感知器が火災を検知した場合、インターホンが自動的に鳴動します。警報音とともに、

「火災が発生しました。安全を確認して避難してください。」

と鳴ります。

・火災の場合は、すぐにインターホンの非常ボタンを押し、管理室に通報してください。

・誤感知やすぐ自分で鎮火できる場合はすぐ処置・鎮火します。

・警報音停止ボタンを押すと、警報音が止まります。警報音停止ボタンを押さなくても、感知器が復旧すれば停止します。2分以内であれば通報は解除できます。感知器が作動中は警報停止ボタンを押しても鳴りつづけます。

エレベータ

センサーが地震を感じると、最寄り階に停止します。

急に停電になった場合は、エレベーターは途中で停止します。10~15秒程度経過後、非常バッテリーが作動し、最寄階に停止します。

ただし、その前の停電から時間が経っていない場合など、バッテリーが十分充電されていない場合は作動できなくなります。揺れを感じたら全ての階のボタンを押し、止まった階で降りるように習慣づけておきましょう。

セキュリティインターホン

緊急時には 非常ボタンを押してください。

管理員室または24時間管理の「ログシステムセンター」に通報されます。管理員室が不在の場合も安心です。

受信した情報により、警備会社が急行し、状況に応じて消防署や警察に通報を行います。

お部屋へ管理室からインターホンで連絡がある場合もあります。



ログシステムセンター

0120-285-789

24時間、365日対応

各種の警報が発生した場合、事故や事件が発生した緊急時の連絡先です。

非常ベル

火災等の非常事態には、非常ベルのボタンを押してください。

非常ベルが鳴っているのを聞いたら、

- ・火災等が発生したのかどうか、周囲の確認をお願いします。
- ・火災が発生していた場合は、避難をお願いします。
- ・避難後に消防署への連絡もお願いします。

止める場合は、非常ベルのボタンを引き戻すことで、鳴動が止まります。



消火器

各階に設置されています。使用方法は

1. まず、黄色の安全栓を上方に完全に引き抜きます。
2. 次にホースをはずし、火元に向けます。
3. レバーを強く握って、できるだけ火元に近づき、手前からホウキで掃くように消火薬剤を放射してください。

■室内で消火活動をする時は、逃げる方向を背にして放射して下さい。

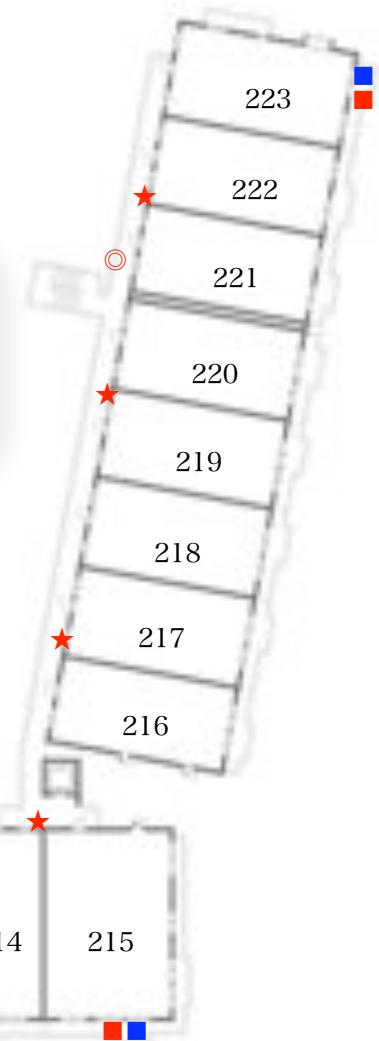
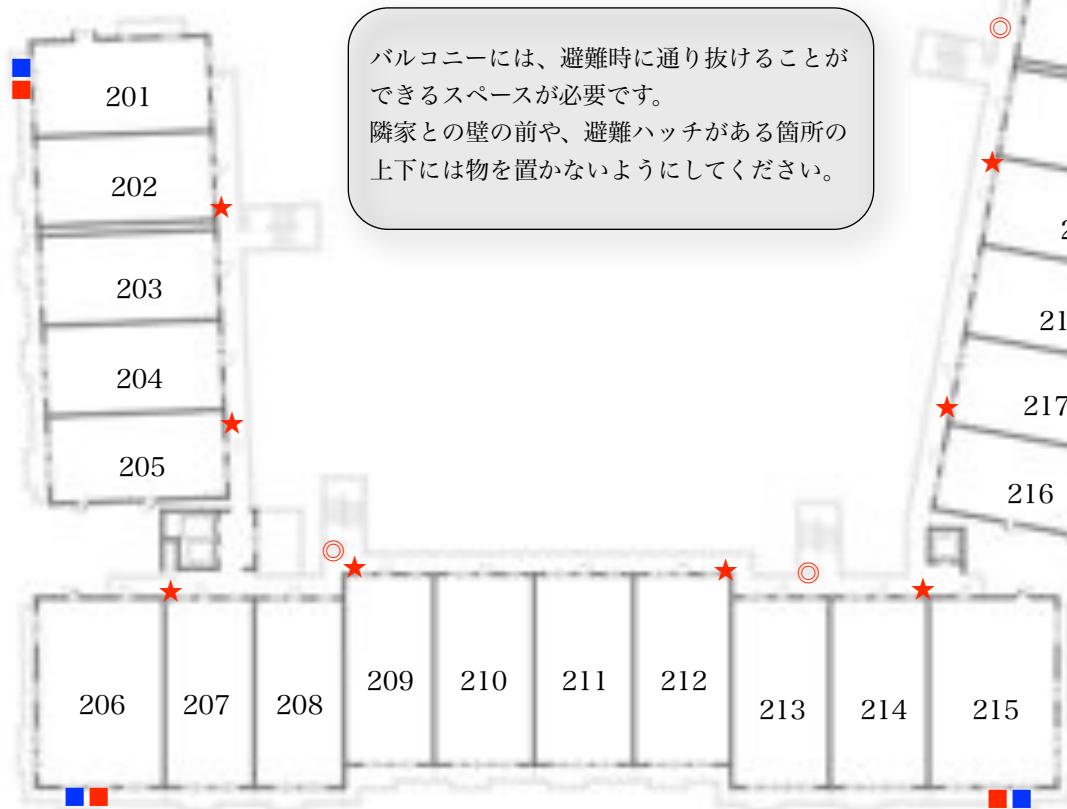
2階

◎ 非常ベル(消火栓)が設置されています。

★ 消火器が設置されています。(廊下側)

■ 階下への避難ハッチがバルコニーに設置されています。

■ 上階からの避難ハッチがバルコニーの天井にあります。



熱感知器

台所に設置されている熱感知器が火災を検知した場合、インターホンが自動的に鳴動します。警報音とともに、

「火災が発生しました。安全を確認して避難してください。」と鳴ります。

- ・火災の場合は、すぐにインターホンの非常ボタンを押し、管理室に通報してください。
- ・誤感知やすぐ自分で鎮火できる場合はすぐ処置・鎮火します。
- ・警報音停止ボタンを押すと、警報音が止まります。警報音停止ボタンを押さなくても、感知器が復旧すれば停止します。2分以内であれば通報は解除できます。感知器が作動中は警報停止ボタンを押しても鳴りつづけます。

エレベータ

センサーが地震を感じると、最寄り階に停止します。

急に停電になった場合は、エレベーターは途中で停止します。10~15秒程度経過後、非常バッテリーが作動し、最寄階に停止します。

ただし、その前の停電から時間が経っていない場合など、バッテリーが十分充電されていない場合は作動できなくなります。揺れを感じたら全ての階のボタンを押し、止まった階で降りるように習慣づけておきましょう。

セキュリティインターホン

緊急時には 非常ボタンを押してください。

管理員室または24時間管理の「ログシステムセンター」に通報されます。管理員室が不在の場合も安心です。

受信した情報により、警備会社が急行し、状況に応じて消防署や警察に通報を行います。

お部屋へ管理室からインターホンで連絡がある場合もあります。



ログシステムセンター

0120-285-789

24時間、365日対応

各種の警報が発生した場合、事故や事件が発生した緊急時の連絡先です。

非常ベル

火災等の非常事態には、非常ベルのボタンを押してください。

非常ベルが鳴っているのを聞いたら、

- ・火災等が発生したのかどうか、周囲の確認をお願いします。
- ・火災が発生していた場合は、避難をお願いします。
- ・避難後に消防署への連絡もお願いします。

止める場合は、非常ベルのボタンを引き戻すことで、鳴動が止まります。



消火器

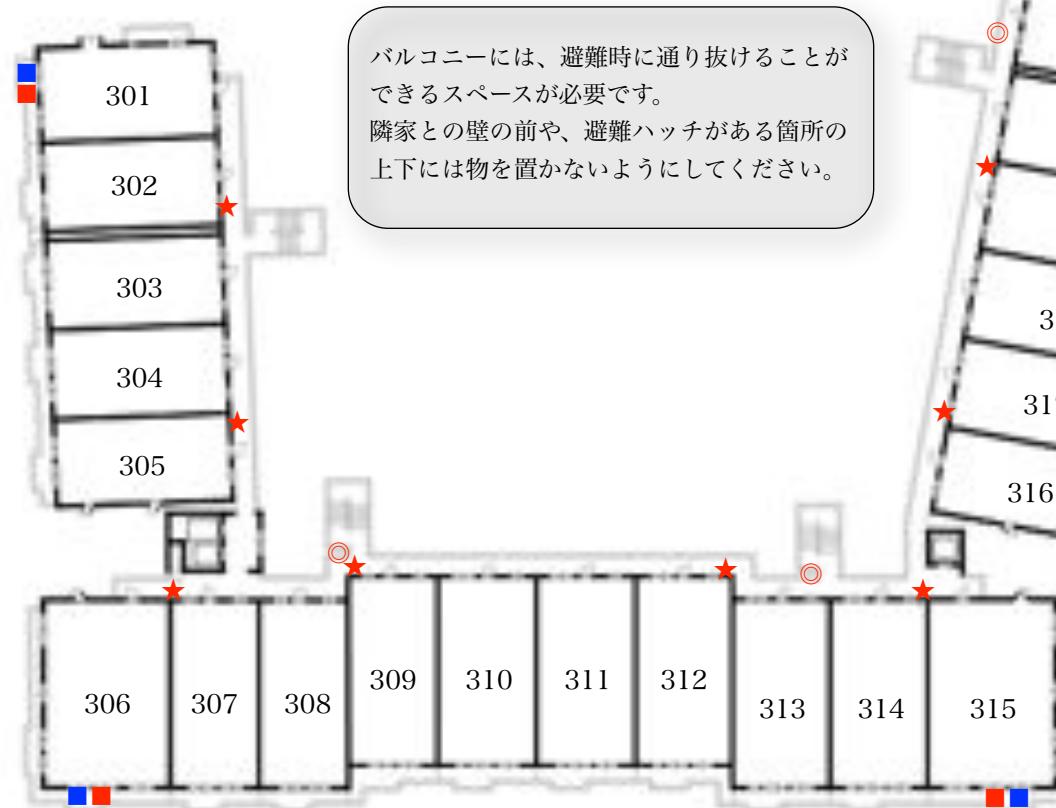
各階に設置されています。使用方法は

1. まず、黄色の安全栓を上方に完全に引き抜きます。
2. 次にホースをはずし、火元に向けます。
3. レバーを強く握って、できるだけ火元に近づき、手前からホウキで掃くように消火薬剤を放射してください。

■室内で消火活動をする時は、逃げる方向を背にして放射して下さい。

3階

- ◎ 非常ベル(消火栓)が設置されています。
- ★ 消火器が設置されています。(廊下側)
- 階下への避難ハッチがバルコニーに設置されています。
- 上階からの避難ハッチがバルコニーの天井にあります。



熱感知器

台所に設置されている熱感知器が火災を検知した場合、インターホンが自動的に鳴動します。警報音とともに、

「火災が発生しました。安全を確認して避難してください。」

と鳴ります。

・火災の場合は、すぐにインターホンの非常ボタンを押し、管理室に通報してください。

・誤感知やすぐ自分で鎮火できる場合はすぐ処置・鎮火します。

・警報音停止ボタンを押すと、警報音が止まります。警報音停止ボタンを押さなくても、感知器が復旧すれば停止します。2分以内であれば通報は解除できます。感知器が作動中は警報停止ボタンを押しても鳴りつづけます。

エレベータ

センサーが地震を感じると、最寄り階に停止します。

急に停電になった場合は、エレベーターは途中で停止します。10~15秒程度経過後、非常バッテリーが作動し、最寄階に停止します。

ただし、その前の停電から時間が経っていない場合など、バッテリーが十分充電されていない場合は作動できなくなります。揺れを感じたら全ての階のボタンを押し、止まった階で降りるように習慣づけておきましょう。

セキュリティインターホン

緊急時には 非常ボタンを押してください。

管理員室または24時間管理の「ログシステムセンター」に通報されます。管理員室が不在の場合も安心です。

受信した情報により、警備会社が急行し、状況に応じて消防署や警察に通報を行います。

お部屋へ管理室からインターホンで連絡がある場合もあります。



ログシステムセンター

0120-285-789

24時間、365日対応

各種の警報が発生した場合、事故や事件が発生した緊急時の連絡先です。

非常ベル

火災等の非常事態には、非常ベルのボタンを押してください。

非常ベルが鳴っているのを聞いたら、

- ・火災等が発生したのかどうか、周囲の確認をお願いします。
- ・火災が発生していた場合は、避難をお願いします。
- ・避難後に消防署への連絡もお願いします。

止める場合は、非常ベルのボタンを引き戻すことで、鳴動が止まります。



消火器

各階に設置されています。使用方法は

1. まず、黄色の安全栓を上方に完全に引き抜きます。
2. 次にホースをはずし、火元に向けます。
3. レバーを強く握って、できるだけ火元に近づき、手前からホウキで掃くように消火薬剤を放射してください。

■室内で消火活動をする時は、逃げる方向を背にして放射して下さい。

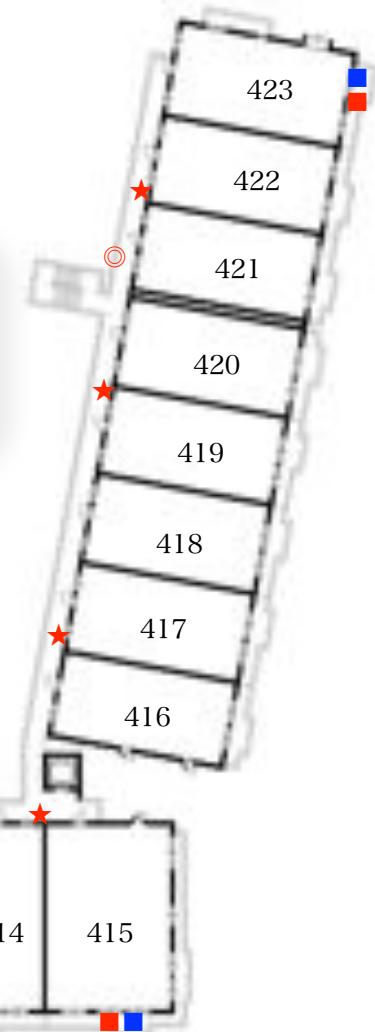
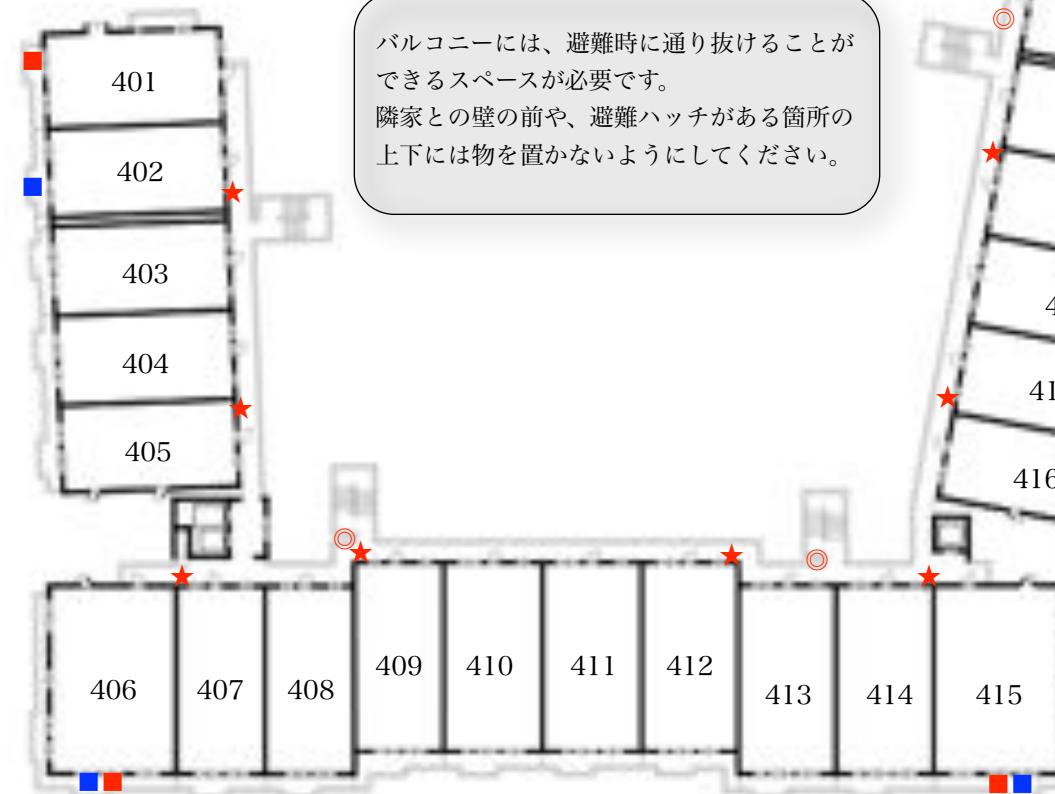
4階

◎ 非常ベル(消火栓)が設置されています。

★ 消火器が設置されています。(廊下側)

■ 階下への避難ハッチがバルコニーに設置されています。

■ 上階からの避難ハッチがバルコニーの天井にあります。



熱感知器

台所に設置されている熱感知器が火災を検知した場合、インターホンが自動的に鳴動します。警報音とともに、

「火災が発生しました。安全を確認して避難してください。」と鳴ります。

- ・火災の場合は、すぐにインターホンの非常ボタンを押し、管理室に通報してください。
- ・誤感知やすぐ自分で鎮火できる場合はすぐ処置・鎮火します。
- ・警報音停止ボタンを押すと、警報音が止まります。警報音停止ボタンを押さなくても、感知器が復旧すれば停止します。2分以内であれば通報は解除できます。感知器が作動中は警報停止ボタンを押しても鳴りつづけます。

エレベータ

センサーが地震を感じると、最寄り階に停止します。

急に停電になった場合は、エレベーターは途中で停止します。10~15秒程度経過後、非常バッテリーが作動し、最寄階に停止します。

ただし、その前の停電から時間が経っていない場合など、バッテリーが十分充電されていない場合は作動できなくなります。揺れを感じたら全ての階のボタンを押し、止まった階で降りるように習慣づけておきましょう。

セキュリティインターホン

緊急時には 非常ボタンを押してください。

管理員室または24時間管理の「ログシステムセンター」に通報されます。管理員室が不在の場合も安心です。

受信した情報により、警備会社が急行し、状況に応じて消防署や警察に通報を行います。

お部屋へ管理室からインターホンで連絡がある場合もあります。



ログシステムセンター

0120-285-789

24時間、365日対応

各種の警報が発生した場合、事故や事件が発生した緊急時の連絡先です。

非常ベル

火災等の非常事態には、非常ベルのボタンを押してください。

非常ベルが鳴っているのを聞いたら、

- ・火災等が発生したのかどうか、周囲の確認をお願いします。
- ・火災が発生していた場合は、避難をお願いします。
- ・避難後に消防署への連絡もお願いします。

止める場合は、非常ベルのボタンを引き戻すことで、鳴動が止まります。



消火器

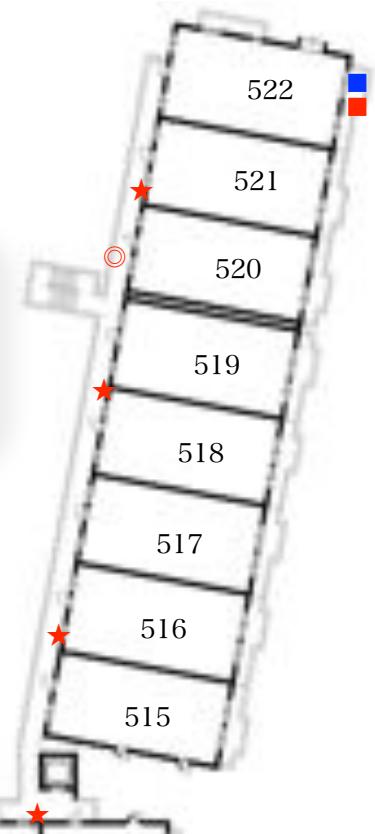
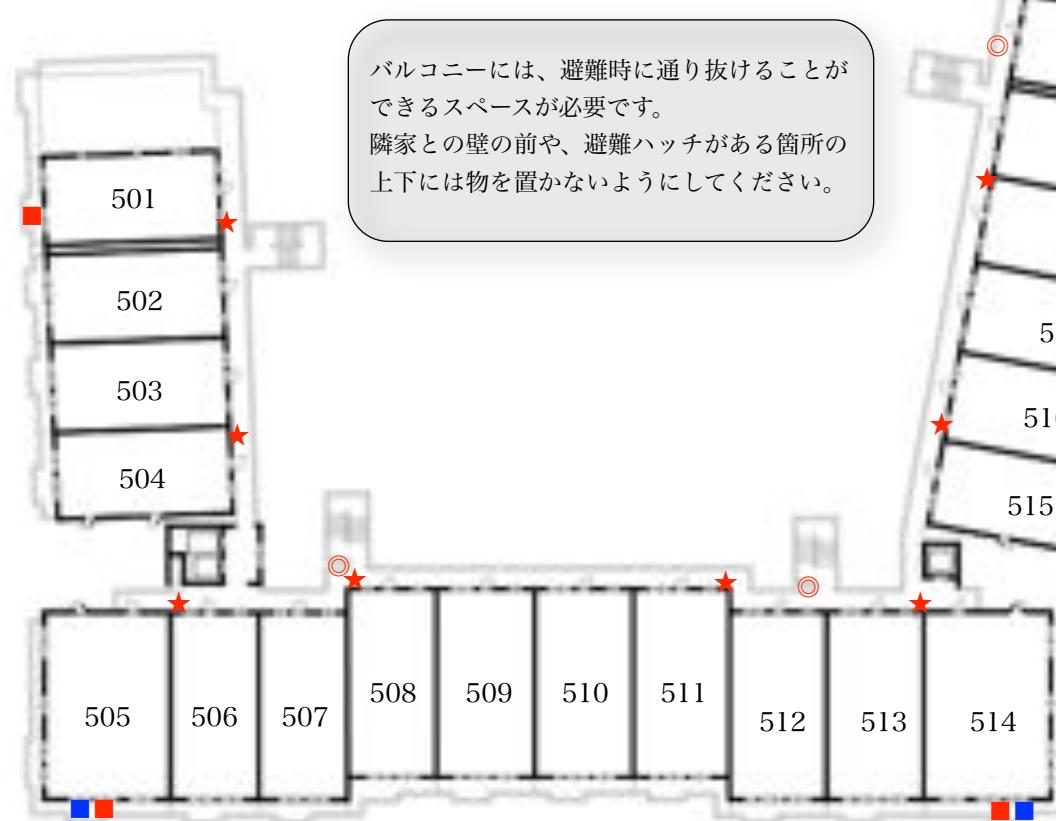
各階に設置されています。使用方法は

1. まず、黄色の安全栓を上方に完全に引き抜きます。
2. 次にホースをはずし、火元に向けます。
3. レバーを強く握って、できるだけ火元に近づき、手前からホウキで掃くように消火薬剤を放射してください。

■室内で消火活動をする時は、逃げる方向を背にして放射して下さい。

5階

- ◎ 非常ベル(消火栓)が設置されています。
- ★ 消火器が設置されています。(廊下側)
- 階下への避難ハッチがバルコニーに設置されています。
- 上階からの避難ハッチがバルコニーの天井にあります。



熱感知器

台所に設置されている熱感知器が火災を検知した場合、インターホンが自動的に鳴動します。警報音とともに、

「火災が発生しました。安全を確認して避難してください。」と鳴ります。

- ・火災の場合は、すぐにインターホンの非常ボタンを押し、管理室に通報してください。
- ・誤感知やすぐ自分で鎮火できる場合はすぐ処置・鎮火します。
- ・警報音停止ボタンを押すと、警報音が止まります。警報音停止ボタンを押さなくても、感知器が復旧すれば停止します。2分以内であれば通報は解除できます。感知器が作動中は警報停止ボタンを押しても鳴りつづけます。

エレベータ

センサーが地震を感じると、最寄り階に停止します。

急に停電になった場合は、エレベーターは途中で停止します。10~15秒程度経過後、非常バッテリーが作動し、最寄階に停止します。

ただし、その前の停電から時間が経っていない場合など、バッテリーが十分充電されていない場合は作動できなくなります。揺れを感じたら全ての階のボタンを押し、止まった階で降りるように習慣づけておきましょう。

セキュリティインターホン

緊急時には 非常ボタンを押してください。

管理員室または24時間管理の「ログシステムセンター」に通報されます。管理員室が不在の場合も安心です。

受信した情報により、警備会社が急行し、状況に応じて消防署や警察に通報を行います。

お部屋へ管理室からインターホンで連絡がある場合もあります。



ログシステムセンター

0120-285-789

24時間、365日対応

各種の警報が発生した場合、事故や事件が発生した緊急時の連絡先です。

非常ベル

火災等の非常事態には、非常ベルのボタンを押してください。

非常ベルが鳴っているのを聞いたら、

- ・火災等が発生したのかどうか、周囲の確認をお願いします。
- ・火災が発生していた場合は、避難をお願いします。
- ・避難後に消防署への連絡もお願いします。

止める場合は、非常ベルのボタンを引き戻すことで、鳴動が止まります。



消火器

各階に設置されています。使用方法は

1. まず、黄色の安全栓を上方に完全に引き抜きます。
2. 次にホースをはずし、火元に向けます。
3. レバーを強く握って、できるだけ火元に近づき、手前からホウキで掃くように消火薬剤を放射してください。

■室内で消火活動をする時は、逃げる方向を背にして放射して下さい。

6階

◎ 非常ベル(消火栓)が設置されています。

★ 消火器が設置されています。(廊下側)

■ 階下への避難ハッチがバルコニーに設置されています。

■ 上階からの避難ハッチがバルコニーの天井にあります。

バルコニーには、避難時に通り抜けることができるスペースが必要です。
隣家との壁の前や、避難ハッチがある箇所の上下には物を置かないようにしてください。



熱感知器

台所に設置されている熱感知器が火災を検知した場合、インターホンが自動的に鳴動します。警報音とともに、

「火災が発生しました。安全を確認して避難してください。」と鳴ります。

- ・火災の場合は、すぐにインターホンの非常ボタンを押し、管理室に通報してください。
- ・誤感知やすぐ自分で鎮火できる場合はすぐ処置・鎮火します。
- ・警報音停止ボタンを押すと、警報音が止まります。警報音停止ボタンを押さなくても、感知器が復旧すれば停止します。2分以内であれば通報は解除できます。感知器が作動中は警報停止ボタンを押しても鳴りつづけます。

エレベータ

センサーが地震を感じると、最寄り階に停止します。

急に停電になった場合は、エレベーターは途中で停止します。10~15秒程度経過後、非常バッテリーが作動し、最寄階に停止します。

ただし、その前の停電から時間が経っていない場合など、バッテリーが十分充電されていない場合は作動できなくなります。揺れを感じたら全ての階のボタンを押し、止まった階で降りるように習慣づけておきましょう。

セキュリティインターホン

緊急時には 非常ボタンを押してください。

管理員室または24時間管理の「ログシステムセンター」に通報されます。管理員室が不在の場合も安心です。

受信した情報により、警備会社が急行し、状況に応じて消防署や警察に通報を行います。

お部屋へ管理室からインターホンで連絡がある場合もあります。



ログシステムセンター

0120-285-789

24時間、365日対応

各種の警報が発生した場合、事故や事件が発生した緊急時の連絡先です。

非常ベル

火災等の非常事態には、非常ベルのボタンを押してください。

非常ベルが鳴っているのを聞いたら、

- ・火災等が発生したのかどうか、周囲の確認をお願いします。
- ・火災が発生していた場合は、避難をお願いします。
- ・避難後に消防署への連絡もお願いします。

止める場合は、非常ベルのボタンを引き戻すことで、鳴動が止まります。



消火器

各階に設置されています。使用方法は

1. まず、黄色の安全栓を上方に完全に引き抜きます。
2. 次にホースをはずし、火元に向けます。
3. レバーを強く握って、できるだけ火元に近づき、手前からホウキで掃くように消火薬剤を放射してください。

■室内で消火活動をする時は、逃げる方向を背にして放射して下さい。

7階

◎ 非常ベル(消火栓)が設置されています。

★ 消火器が設置されています。(廊下側)

■ 階下への避難ハッチがバルコニーに設置されています。

■ 上階からの避難ハッチがバルコニーの天井にあります。



熱感知器

台所に設置されている熱感知器が火災を検知した場合、インターホンが自動的に鳴動します。警報音とともに、

「火災が発生しました。安全を確認して避難してください。」と鳴ります。

- ・火災の場合は、すぐにインターホンの非常ボタンを押し、管理室に通報してください。
- ・誤感知やすぐ自分で鎮火できる場合はすぐ処置・鎮火します。
- ・警報音停止ボタンを押すと、警報音が止まります。警報音停止ボタンを押さなくても、感知器が復旧すれば停止します。2分以内であれば通報は解除できます。感知器が作動中は警報停止ボタンを押しても鳴りつづけます。

エレベータ

センサーが地震を感じると、最寄り階に停止します。

急に停電になった場合は、エレベーターは途中で停止します。10~15秒程度経過後、非常バッテリーが作動し、最寄階に停止します。

ただし、その前の停電から時間が経っていない場合など、バッテリーが十分充電されていない場合は作動できなくなります。揺れを感じたら全ての階のボタンを押し、止まった階で降りるように習慣づけておきましょう。

セキュリティインターホン

緊急時には 非常ボタンを押してください。

管理員室または24時間管理の「ログシステムセンター」に通報されます。管理員室が不在の場合も安心です。

受信した情報により、警備会社が急行し、状況に応じて消防署や警察に通報を行います。

お部屋へ管理室からインターホンで連絡がある場合もあります。



ログシステムセンター

0120-285-789

24時間、365日対応

各種の警報が発生した場合、事故や事件が発生した緊急時の連絡先です。

非常ベル

火災等の非常事態には、非常ベルのボタンを押してください。

非常ベルが鳴っているのを聞いたら、

- ・火災等が発生したのかどうか、周囲の確認をお願いします。
- ・火災が発生していた場合は、避難をお願いします。
- ・避難後に消防署への連絡もお願いします。

止める場合は、非常ベルのボタンを引き戻すことで、鳴動が止まります。



消火器

各階に設置されています。使用方法は

1. まず、黄色の安全栓を上方に完全に引き抜きます。
2. 次にホースをはずし、火元に向けます。
3. レバーを強く握って、できるだけ火元に近づき、手前からホウキで掃くように消火薬剤を放射してください。

■室内で消火活動をする時は、逃げる方向を背にして放射して下さい。

8階

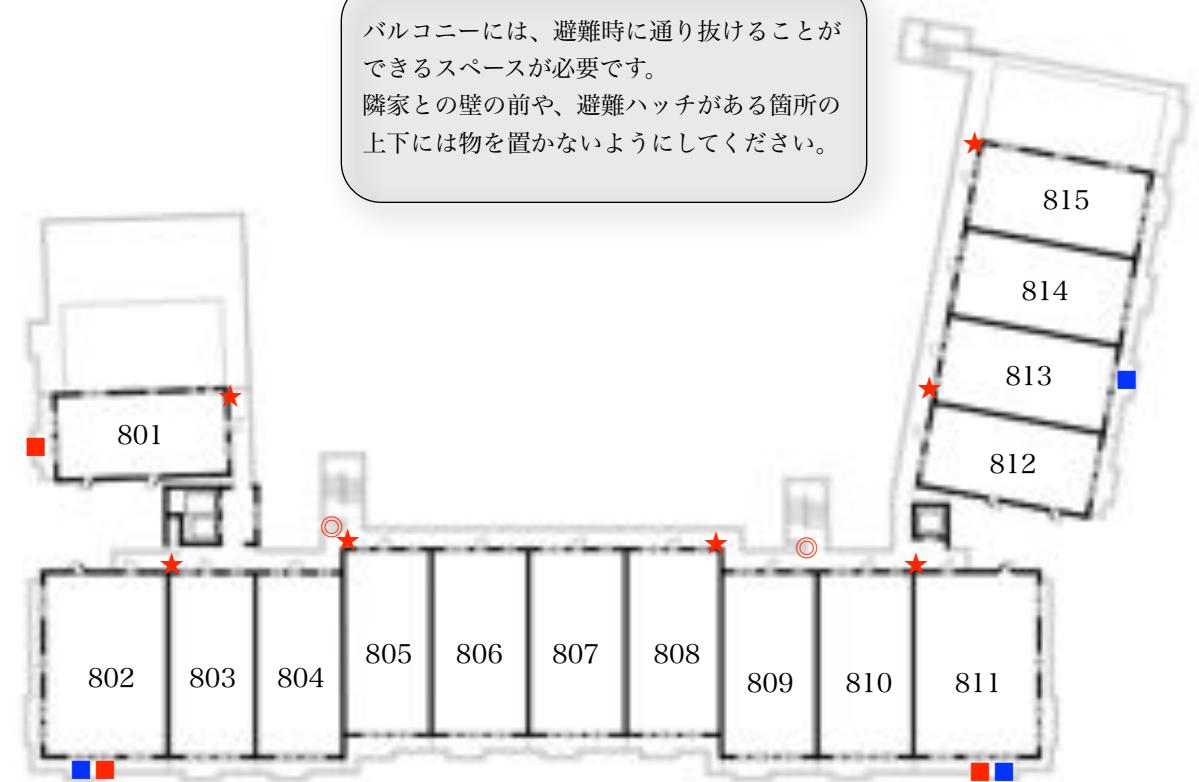
◎ 非常ベル(消火栓)が設置されています。

★ 消火器が設置されています。(廊下側)

■ 階下への避難ハッチがバルコニーに設置されています。

■ 上階からの避難ハッチがバルコニーの天井にあります。

バルコニーには、避難時に通り抜けることができるスペースが必要です。
隣家との壁の前や、避難ハッチがある箇所の上下には物を置かないようにしてください。



熱感知器

台所に設置されている熱感知器が火災を検知した場合、インターホンが自動的に鳴動します。警報音とともに、

「火災が発生しました。安全を確認して避難してください。」と鳴ります。

- ・火災の場合は、すぐにインターホンの非常ボタンを押し、管理室に通報してください。
- ・誤感知やすぐ自分で鎮火できる場合はすぐ処置・鎮火します。
- ・警報音停止ボタンを押すと、警報音が止まります。警報音停止ボタンを押さなくても、感知器が復旧すれば停止します。2分以内であれば通報は解除できます。感知器が作動中は警報停止ボタンを押しても鳴りつづけます。

エレベータ

センサーが地震を感じると、最寄り階に停止します。

急に停電になった場合は、エレベーターは途中で停止します。10~15秒程度経過後、非常バッテリーが作動し、最寄階に停止します。

ただし、その前の停電から時間が経っていない場合など、バッテリーが十分充電されていない場合は作動できなくなります。揺れを感じたら全ての階のボタンを押し、止まった階で降りるように習慣づけておきましょう。

セキュリティインターホン

緊急時には 非常ボタンを押してください。

管理員室または24時間管理の「ログシステムセンター」に通報されます。管理員室が不在の場合も安心です。

受信した情報により、警備会社が急行し、状況に応じて消防署や警察に通報を行います。

お部屋へ管理室からインターホンで連絡がある場合もあります。



ログシステムセンター

0120-285-789

24時間、365日対応

各種の警報が発生した場合、事故や事件が発生した緊急時の連絡先です。

非常ベル

火災等の非常事態には、非常ベルのボタンを押してください。

非常ベルが鳴っているのを聞いたら、

- ・火災等が発生したのかどうか、周囲の確認をお願いします。
- ・火災が発生していた場合は、避難をお願いします。
- ・避難後に消防署への連絡もお願いします。

止める場合は、非常ベルのボタンを引き戻すことで、鳴動が止まります。



消火器

各階に設置されています。使用方法は

1. まず、黄色の安全栓を上方に完全に引き抜きます。
2. 次にホースをはずし、火元に向けます。
3. レバーを強く握って、できるだけ火元に近づき、手前からホウキで掃くように消火薬剤を放射してください。

■室内で消火活動をする時は、逃げる方向を背にして放射して下さい。

9階

◎ 非常ベル(消火栓)が設置されています。

★ 消火器が設置されています。(廊下側)

■ 階下への避難ハッチがバルコニーに設置されています。

■ 上階からの避難ハッチがバルコニーの天井にあります。

バルコニーには、避難時に通り抜けることができるスペースが必要です。
隣家との壁の前や、避難ハッチがある箇所の上下には物を置かないようにしてください。



熱感知器

台所に設置されている熱感知器が火災を検知した場合、インターホンが自動的に鳴動します。警報音とともに、

「火災が発生しました。安全を確認して避難してください。」と鳴ります。

- ・火災の場合は、すぐにインターホンの非常ボタンを押し、管理室に通報してください。
- ・誤感知やすぐ自分で鎮火できる場合はすぐ処置・鎮火します。
- ・警報音停止ボタンを押すと、警報音が止まります。警報音停止ボタンを押さなくても、感知器が復旧すれば停止します。2分以内であれば通報は解除できます。感知器が作動中は警報停止ボタンを押しても鳴りつづけます。

エレベータ

センサーが地震を感じると、最寄り階に停止します。

急に停電になった場合は、エレベーターは途中で停止します。10~15秒程度経過後、非常バッテリーが作動し、最寄階に停止します。

ただし、その前の停電から時間が経っていない場合など、バッテリーが十分充電されていない場合は作動できなくなります。揺れを感じたら全ての階のボタンを押し、止まった階で降りるように習慣づけておきましょう。

セキュリティインターホン

緊急時には 非常ボタンを押してください。

管理員室または24時間管理の「ログシステムセンター」に通報されます。管理員室が不在の場合も安心です。

受信した情報により、警備会社が急行し、状況に応じて消防署や警察に通報を行います。

お部屋へ管理室からインターホンで連絡がある場合もあります。



ログシステムセンター

0120-285-789

24時間、365日対応

各種の警報が発生した場合、事故や事件が発生した緊急時の連絡先です。

非常ベル

火災等の非常事態には、非常ベルのボタンを押してください。

非常ベルが鳴っているのを聞いたら、

- ・火災等が発生したのかどうか、周囲の確認をお願いします。
- ・火災が発生していた場合は、避難をお願いします。
- ・避難後に消防署への連絡もお願いします。

止める場合は、非常ベルのボタンを引き戻すことで、鳴動が止まります。



消火器

各階に設置されています。使用方法は

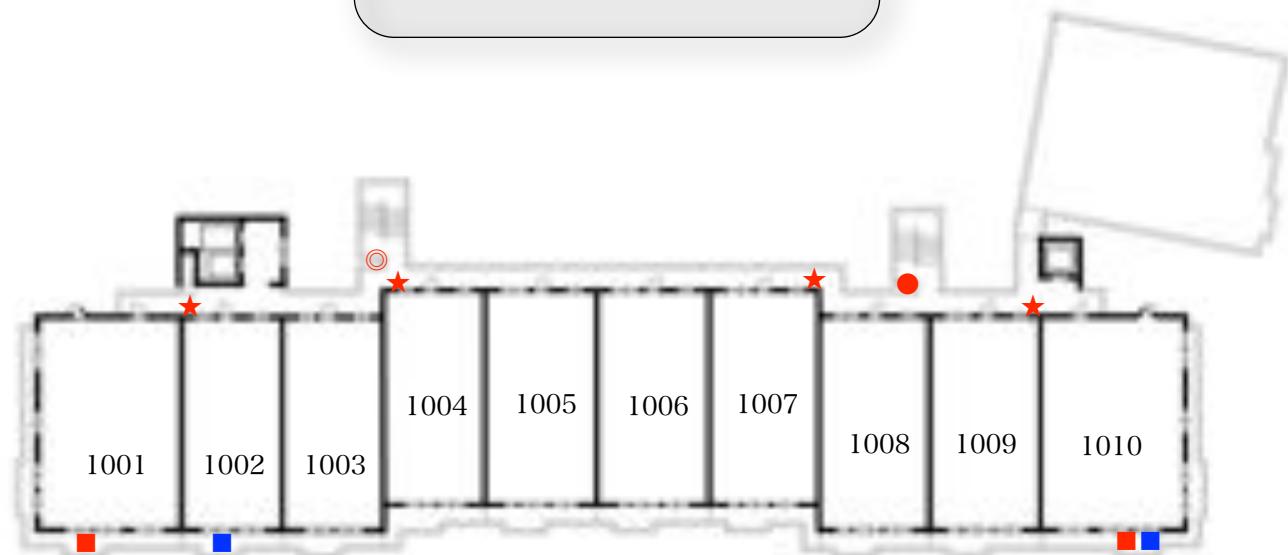
1. まず、黄色の安全栓を上方に完全に引き抜きます。
2. 次にホースをはずし、火元に向けます。
3. レバーを強く握って、できるだけ火元に近づき、手前からホウキで掃くように消火薬剤を放射してください。

■室内で消火活動をする時は、逃げる方向を背にして放射して下さい。

10階

- ◎ 非常ベル(消火栓)が設置されています。
- 非常ベルが設置されています。
- ★ 消火器が設置されています。(廊下側)
- 階下への避難ハッチがバルコニーに設置されています。
- 上階からの避難ハッチがバルコニーの天井にあります。

バルコニーには、避難時に通り抜けることができるスペースが必要です。
隣家との壁の前や、避難ハッチがある箇所の上下には物を置かないようにしてください。



熱感知器

台所に設置されている熱感知器が火災を検知した場合、インターホンが自動的に鳴動します。警報音とともに、

「火災が発生しました。安全を確認して避難してください。」と鳴ります。

- ・火災の場合は、すぐにインターホンの非常ボタンを押し、管理室に通報してください。
- ・誤感知やすぐ自分で鎮火できる場合はすぐ処置・鎮火します。
- ・警報音停止ボタンを押すと、警報音が止まります。警報音停止ボタンを押さなくても、感知器が復旧すれば停止します。2分以内であれば通報は解除できます。感知器が作動中は警報停止ボタンを押しても鳴りつづけます。

エレベータ

センサーが地震を感じると、最寄り階に停止します。

急に停電になった場合は、エレベーターは途中で停止します。10~15秒程度経過後、非常バッテリーが作動し、最寄階に停止します。

ただし、その前の停電から時間が経っていない場合など、バッテリーが十分充電されていない場合は作動できなくなります。揺れを感じたら全ての階のボタンを押し、止まった階で降りるように習慣づけておきましょう。

セキュリティインターホン

緊急時には 非常ボタンを押してください。

管理員室または24時間管理の「ログシステムセンター」に通報されます。管理員室が不在の場合も安心です。

受信した情報により、警備会社が急行し、状況に応じて消防署や警察に通報を行います。

お部屋へ管理室からインターホンで連絡がある場合もあります。



ログシステムセンター

0120-285-789

24時間、365日対応

各種の警報が発生した場合、事故や事件が発生した緊急時の連絡先です。

非常ベル

火災等の非常事態には、非常ベルのボタンを押してください。

非常ベルが鳴っているのを聞いたら、

- ・火災等が発生したのかどうか、周囲の確認をお願いします。
- ・火災が発生していた場合は、避難をお願いします。
- ・避難後に消防署への連絡もお願いします。

止める場合は、非常ベルのボタンを引き戻すことで、鳴動が止まります。



消火器

各階に設置されています。使用方法は

1. まず、黄色の安全栓を上方に完全に引き抜きます。
2. 次にホースをはずし、火元に向けます。
3. レバーを強く握って、できるだけ火元に近づき、手前からホウキで掃くように消火薬剤を放射してください。

■室内で消火活動をする時は、逃げる方向を背にして放射して下さい。

11階

◎ 非常ベル(消火栓)が設置されています。

★ 消火器が設置されています。(廊下側)

■ 階下への避難ハッチがバルコニーに設置されています。

バルコニーには、避難時に通り抜けることができるスペースが必要です。
隣家との壁の前や、避難ハッチがある箇所の上下には物を置かないようにしてください。

